



ハンガリー政府観光局 ニュース 2011年2月17日 No202

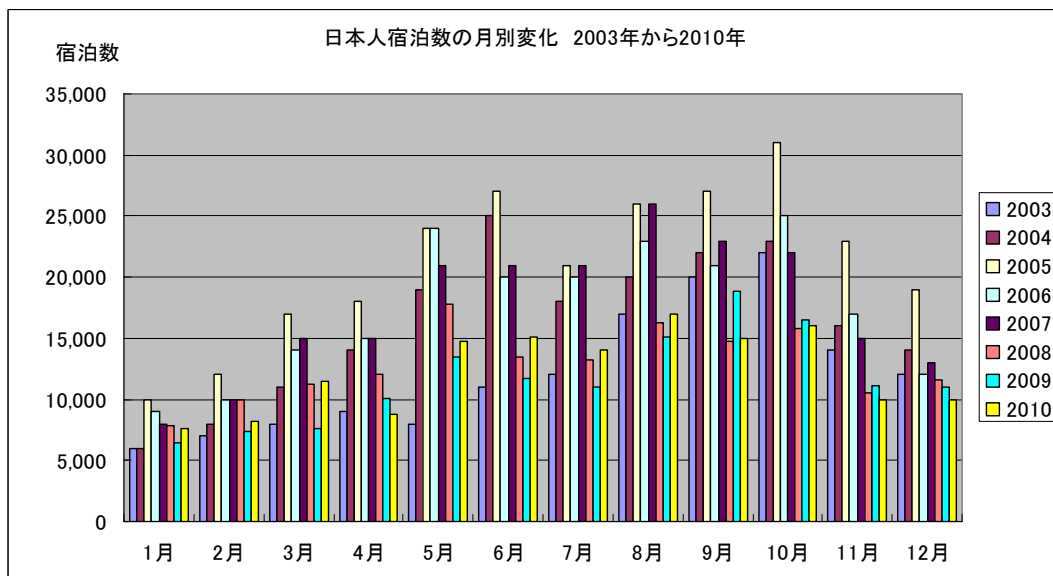
- 2010年の日本人宿泊数
- ハンガリー ツーリズム高品質大賞 2010
- ブダペスト第 34 回国際旅行博覧会 3月3日から6日
- 新たなブダペスト空港リムジンバス REA
- 【コラム】カントリー・ロード
「ヴィラーニのホテルへワインのテイスティングに行っておいで！」

2010年の日本人宿泊数

ハンガリー国立中央統計局はこの度 2010 年の観光関連の統計値を発表しました。発表によれば、日本人の宿泊は前年に比べ 4.9%の増加で、延べ 148,000 泊でした。一方、外国人宿泊数は 1.4%の増加で、9,358,000 泊でした。

以下に、2010 年の日本人宿泊数の推移と、2003 年から 2010 年までの月別の宿泊数の変化を示しました。

2010 月	日本人宿泊	
	宿泊数	対前年比(%)
1	7,600	118.8
2	8,200	111.1
3	11,500	152.0
4	8,800	87.0
5	14,700	108.2
6	15,100	128.5
7	14,000	122.6
8	17,000	109.7
9	15,000	78.2
10	16,000	98.4
11	10,000	91.3
12	10,000	93.6



ハンガリー ツーリズム高品質大賞 2010

ハンガリー ツーリズム高品質大賞は、2004年から導入された、ホテルやレストランをはじめ、観光業に携わる企業を対象としたもので、より良いサービスを目指す事を目的としています。ロゴマークの Q は、高い品質と安心を保証するマークとして浸透しています。2010年の受賞は次の9つのホテルと4つのレストラン通りです。



- **Abacus Business & Wellness Hotel** (Herceghalom) ブダペストの西約 21km
www.abacushotel.hu
- **Danubius Health Spa Resort Aqua** (Hévíz) ヘーヴィーズ温泉
www.danubiushotels.com
- **Expo Congress Hotel** (Budapest) 市内エキスポ会場に隣接
www.expohotelbudapest.com
- **Global Football Park and Sporthotel** (Telki) ブダペストの西北西約 18km
www.global.hu
- **Hunguest Hotel Flóra** (Eger) 市内中心部にある 4 つ星ホテル
www.hunguesthotels.hu
- **Hunguest Hotel Palota** (Lillafüred) ミシュコルツ郊外の城ホテル
www.hunguesthotels.hu
- **Opera Garden Hotel & Apartments** (Budapest) 市内オペラ座近くのデザイナーホテル
www.operagardenhotel.hu
- **Spirit Hotel Thermal Spa** (Sárvár) シャールヴァール温泉の 5 つ星ホテル
www.spirithotel.hu
- **Szalajka Liget Hotel & Apartmanházak** (Szilvásvárad) 北東ハンガリーの林間リゾート
www.szalajkaliget.hu
- **Borssó Bistro** (Budapest) ブダペスト、カルヴィン広場近く www.borssó.hu
- **Tercia Fertőendréd, Tercia Hubertus, Tercia Kópháza** (Sopron) ショプロン近郊のチェーンレストラン www.terciarestaurants.hu



ブダペスト第 34 回国際旅行博覧会

第 34 回国際旅行博覧会が 3 月 3 日から 6 日まで、ブダペストのエキスポ会場 (HUNGEXPO Budapest Fair Center) で開催されます。

中欧最大級のこの旅行博覧会は、ハンガリーの旅行事情を知る上で最適のイベント。昨年は 615 の展示があり 5 万 5 千人の入場者を数えました。

今年のテーマはヘルスツーリズムで、イベント概要は次の通りです。

- 開催日時: 3 月 3 日 (木) から 6 日 (日)、10:00 から 18:00 まで
- 入場料: 2,000HUF (オンライン購入: 1,600HUF)
- 会場: HUNGEXPO Budapest Fair Center
- アクセス: 地下鉄 M2 終点の Örs vezér tere 駅から、バス 100 番に乗り継ぎ、会場前下車又は同駅から徒歩約 15 分。
- 業界向け会議: 3 月 3 日と 4 日の 2 日間
- UEL: www.utazas.hungexpo.hu



新たなブダペスト空港リムジンバス REA

Weekendbus 社は 2011 年 1 月 1 日より、ブダペスト・フェリヘジ空港ターミナル 2 (T2) からくさり橋のペスト側のたもとに位置するルーズベルト広場まで、新たな空港リムジンバス REA の運行を開始しました。

- ルート: 空港 T2 - 空港 T1 - ネープリゲト・バスターミナル - スタディオン・バスターミナル - ブダペスト東駅 - ブラハ・ルイザ広場 - エルジェーベト広場 - ルーズベルト広場
- 停留所: 停留所は REA (空港急行バス) が目印
- 所要時間と料金: 約 45 分 1,400HUF
- 空港発時刻: T2 発: 5 時から 24 時まで 30 分毎 (11:30 と 20 時を除く)
- 市内発時刻: ルーズベルト広場発: 4 時から 23 時まで 30 分毎
- 詳細情報: <http://www.weekendbus.hu/> (英)

これにより、空港 T2 とブダペスト市内を結ぶ公共交通機関によるアクセスルートは次の 5 となりました。() 内はペスト側の中心デアーク・フェレンツ広場付近までの運賃 (1HUF = 0.42 円)

- 市バス 200E 番と地下鉄 M3 (デアーク・フェレンツ広場駅 640HUF 約 270 円)
- ツェントルムバス Centrubus (マダーチ広場 Regency Hotel 前 1,000HUF 約 420 円)
- ウィークエンドバス Weekendbus (エルジェーベト広場 105 系統バス停 1,400HUF 約 590 円)
- エアポートシャトルバス (旧エアポートミニバス) (2,990HUF 約 1,260 円)
- エアポート・タクシー (5,100HUF 約 2,200 円)



【コラム】カントリー・ロード

「ヴィラーニのホテルへワインのテイスティングに行っておいで！」

飯田 愛紀

6月某日、モハーチの友人宅にいた私は、友人のこの一言でヴィラーニを訪れることとなった。ハンガリー赤ワインの名産地・ヴィラーニ。いつか機会があれば、と思っただけなのに今回の予定には入れていなかったの思い切り準備不足だ。ああ、もう少し勉強してくれば良かった。後悔しつつモハーチからバスに揺られること30分あまり。着いた先はモハーチに増してのどかな町だった。

空が青い。月並みな感想だが、そう思った。

なだらかな斜面を描くメインストリート沿いは様々なワインセラーが軒を連ねている。一人歩きの東洋人はやはり珍しいらしく、店番の人たちがしきりにこちらを気にしていた。が、友人の紹介してくれたホテル——、ゲレ・アツティラ・ホテルに行かなければならぬため、他のセラーを見ている余裕はない。

しばらく道なりに登っていくと、ほどなくして目的のホテルにたどり着いた。レンガ仕様の外観が可愛らしい、この辺り一番の高級ホテルのようだ。それもそのはず。このホテルはヴィラーニワインの第一人者、ゲレ・アツティラ氏のスパホテルなのだ。

さて、ホテルに足を踏み入ると……、誰もいない！ ど、どうしよう。若干焦っていると優しいお姉さんが来てくれ、声をかけてみると、英語は分からないという返事。何とかハンガリー語でワインのテイスティングをしたいと伝え、席へ案内してもらった。

庭を一望できる席、こんないい場所を独り占めである。

ワインを運んでくれるたび、お姉さんは製造年及び銘柄・説明の書かれた英文を指してくれた。その都度私も礼を言って、まずは香りを楽しんでから口を付ける。パンノンハルマでの失態を繰り返さないため、今回はちゃんとメモを取った。



ホテルの中庭。

・2007, ATHUS Cuvee

軽めのドライ。

・2007, Cabernet Sauvignon

ツンとする香りに舌触りもスパイシー。ドライだ。

・2006, Tinta

一見甘さを誘うような香りだったが、予想外に辛め。後味すっきりというか、とてもサツパリ。

・2006, Cabernet Franc Selection

香りはフルーティ、少し苦みがある。苦みというか渋みというか……とにかく渋い！

そしていよいよラスト。2006/2007, Kopar Cuvee. コパール。ゲレ・アツティラ氏の最高ブランド

だ。少々グラスを持つ手が緊張で揺れた。まず口を付けると深さのある渋み、同時に心地良いスパイシーさが私の鼻腔を満たした。あと引くような舌触りが何とも言えず、辛い、けど美味しい！ うん、本当に美味しい。素敵な景色を独り占めして最高級のワインを頂くなんて得がたい至福だろう。でも……最高に贅沢な時間を享受しているというのに……、なぜだか私はひどく感傷的になってしまった。酔ったせいだろうか？ 思えば随分と遠い場所へ来たものだ。大好きな国、友達もいて、凄く幸せ。でも今、ここに私一人。コパールがこんなにも渋かったなんて……、せめて向かいの席に誰かいたら笑って口から出たであろう声を喉元で押し殺して、いっそ苦いほどのコパールの渋みで胸を満たしているとふいにウエイターのお姉さんが声をかけてくれた。「大丈夫？」心配そうな顔で差し出してくれたのはミネラルウォーターだ。傍目にも酔っぱらいに見えていたのだろうか？ みっともない。自省しながら礼を言った。第一印象そのままに、優しい人だった。

さて、テイastingを終えて会計を済ませ、帰ろうとしていると姉さんから「セラーを見て行って」と嬉しい申し出が。お言葉に甘えて地下のセラーを見学させてもらった。

ふっとまとわりつくような冷気とツンと心地よい木の匂い。色々と質問したかったが……、ハンガリー語ができないので断念。残念。

限りなく泥酔に近いほろ酔いでホテルを出た私はやはりただの酔っぱらいであった。やばい、呑みすぎた。無事にモハーチへ帰り着けるのだろうか？ メイン通りをフラフラと下っていると、先ほどこちらを気にしていた店頭青年が声をかけてきた。「もうワインは飲んだ？」「うん、今そのホテルで」「こっちにもおいで」ありがたいお誘い、違うセラーも見たい気持ちは大いにあったが、お断りすることにした。もったいない、まだまだ屋下がり、あっちにもこっちにもワイナリーが手招くように店を構えているのに！ しかしながら、モハーチに帰る方が優先だ。バス乗り場でおば様たちと世間話を花を咲かせつつ無事にバスに乗り、私はどうにか無事モハーチに戻った。着いた途端に倒れるのを覚悟していたが意外なことに酔いは醒めてきていた。……こんなことなら、もっとももっとも飲めば良かった！ などと書くとは飲んだくれのようだが、本当にそう思うのだ。あたらワイナリーを前にしてとんぼ返りとは。なぜみんなあんな素敵な場所をスルーするのだろうか。実に勿体ない。ハンガリーの見所は、ブダペストだけではないのだ。



ヴィラーニの赤ワイン。



セラーとお姉さん。

でも、これは個人的な意見なのだが、ヴィラーニ訪問の際にはぜひ二人以上で訪れてもらいたい。なぜなら、やはり語り合う相手がいてこそ美味しいワインだと思うからだ。むろん、一人でとことん飲んだくれてとことん思考の海に溺れてみるのも乙かもしれないが…
…、私は前者を選びたい。

青空に抱かれた田舎道。ふらりと訪ねれば、きっと誰しも最高の一杯と出会えるに違いない。

ハンガリーの最南方、クロアチア国境近くのこの町にぜひ一度足を運んでみてはいかがだろうか？

※ヴィラーニへのアクセス。

モハーチのバスターミナルから直行、朝～夕で一時間に約一本。



ヴィラーニ・メイン通り。